



市内のイベントを随時発信!

十和田市ブログ駒の里

検索

7/13 市民1人1スポーツを目指して 市総合体育大会で熱戦展開

市総合体育センターなどで「第10回十和田市総合体育大会(前期)」が開催されました。サッカーやソフトボール、バドミントンなど7種目に830人が参加。小学校の学区ごとに分けられた14地区の対抗戦で行われ、和気あいあいとした中にも真剣味あふれるプレーが展開されました。競技の結果、前期第1位は三本木小地区、第2位は北園小地区、第3位は南小地区でした。



W杯(ワールドカップ)に負けない白熱した試合が行われたサッカー競技

6/27 講座に参加して健康とわだポイントをGet! さわやか健康講座

市保健センターで、平成26年度さわやか健康講座の第1回目が行われ、約90人が参加しました。今回の講座は市立中央病院院長の丹野弘晃さんを講師に迎え、「健診って本当に必要? 医師が語る病気の芽はココ!」と題し、健診の必要性と健診項目について学びました。この健康講座は、健康とわだポイントラーのポイント対象講座です。ポイントを貯めると賞品などがもらえます。詳しくは市保健センターへお問い合わせください。



わかりやすく、楽しく説明する丹野院長の講話に笑顔が絶えませんでした

7/6 グラウンドなどが整備され、全ての工事が終了 四和小・中学校新校舎落成記念式典

市立四和小・中学校(佐々木俊弘校長)で新校舎落成記念式典が行われました。式典には、児童生徒のほか、教職員や保護者、工事関係者らが出席。小山田市長は「新しい時代にふさわしい小中連携のモデル校として発展することを願っています」と、式辞を述べました。児童生徒は「新しい校舎やグラウンド、仲間を大切にします」と、喜びの言葉を述べました。



喜びの言葉とともに合唱を披露した児童生徒。澄んだ歌声が体育館に響き渡りました



各クラス代表の児童が活動の様子を報告。市長は「今回の貴重な経験を生かしてほしい」と、話しました

6/25 小学生が北海道で十和田市を情報発信 修学旅行でとわだ産品をPR

市立南小学校(向後秀樹校長)の6年生の児童4人が市役所を訪れ、修学旅行で北海道函館市などを訪れた際に、6年生全員が函館駅で行ったとわだ産品のPR活動の様子を小山田市長に報告しました。山形雄翔くんは「最初は声を掛けることができるのか心配でしたが、観光客や函館市のかたが気軽に質問してくれたので緊張が喜びに変わりました」と、笑顔を見せていました。

6/29 自分にあった講座を見つけよう! 講座体験&見学デーを開催

東公民館で講座を開いている民間教育事業者による「講座体験&見学デー」が開催されました。何か習い事を始めたいけど何がいいのか分からないというかたに、たくさんの講座を体験し、自分に合った講座を見つけてもらおうと、この日はフラダンスやヨガ、生け花など14講座が提供されました。各講座1時間から2時間程度の体験が行われ、この機会にいろいろな講座を体験しようと多くのかたが訪れました。



フラダンスに参加したかたは「思ったよりもいい運動になりました」と、満足気な表情を見せていました

Pick Up

中学生が地域の大人社会に飛び込んで職場体験 「三中トライやるウィーク」を実施

6月30日から7月4日にかけて、三本木中学校(上明戸茂校長)3年生の生徒が市内約120の事業所を訪問し、将来に役立つ体験活動を行う「三中トライやるウィーク」が実施されました。第二友愛保育園(西館朋子園長)を訪問した杉山蘭さんほか2人は、園児とゲームをしたり、園内の掃除をしたりしました。杉山さんらは「泣いている子どもをなだめたり、言うことを聞かせたりするのは大変でしたが、話したり、遊んだりするのは楽しかったです」と、話しました。



絵本を読みながら園児とコミュニケーション

パティスリーミサワ(三澤哲代表取締役)を訪問した小山田風沙さんほか2人は、従業員と一緒にケーキ作りやお菓子の包装などを行いました。小山田さんらは「たくさんの仕事の中で、イチゴのへたを100個以上取った作業が一番印象に残っています。食品を扱う仕事なので、衛生面は特に気を付けました」と、話しました。(記事作成・写真撮影 工藤拓也、西野留可)



「広報とわだ」の職場体験した工藤拓也くんと西野留可さん



真剣なまなざしで作業 2人で協力してケーキ作りを行いました

6/27 全国のご当地グルメが十和田に集結 全国B-1グランプリ開催地に決定

2015年秋に開催が予定されているご当地グルメによるまちおこしの祭典「第10回全国B-1グランプリ」が、十和田市で開催されることが決定しました。市役所で行われた記者会見で小山田市長は「市民の皆さんのこれまでの取り組みを高く評価してもらい、うれしく思います。小さな地方都市ですが、各団体や市民の皆さんとともに十和田市ならではのまちおこしの祭典にしていきたい」と、意気込みを話しました。



「ラビアンローズ!」決めポーズで開催決定を喜ぶ関係者の皆さん